

令和7年度(2025年度)

全国学力・学習状況調査結果及び 今後の取組について

誰一人取り残さない学びの保障と、
児童生徒を学びの主体とする授業力の向上を図る。

熊本県教育庁市町村教育局義務教育課

目次

I 本県の学力向上に向けた取組

- 1 「熊本の学び」の推進
- 2 重点指標及び取組

II 全国学力・学習状況調査の結果について

- 1 調査の概要
- 2 教科に関する調査結果
- 3 質問調査結果

III 今後の取組等について

- 1 学力向上検証改善サイクル
- 2 課題の改善に向けた県教育委員会の取組
- 3 課題の改善に向けた各学校の取組

I 本県の学力向上に向けた取組について

1 「熊本の学び」の推進

「熊本の学び推進プラン」について

令和元年12月策定

熊本の学びの【理念】

～熊本のすべての子供たちが、「学ぶ意味」を問いながら、
「能動的に学び続ける力」を身に付けることを目指します～

熊本の未来の創り手となる子供たちに期待する学び 【提言】

- 【提言 1】 ふるさと熊本に根ざし、豊かな郷土の創造と自己の向上を目指し、
能動的に学び続ける熊本の子供
- 【提言 2】 問いを発し、課題に主体的に立ち向かい、学びを深める熊本の子供
- 【提言 3】 自分の学びの姿を知り、日々たゆまず、自ら学ぶ熊本の子供

「熊本の学び推進プラン」四つの基本方針

- (1) 「教育活動の質を向上させ、学習効果の最大化を目指すカリキュラム・マネジメントの推進」
- (2) 「子供が問いを発し、課題に立ち向かい、学びを深める授業改善の推進」
- (3) 「子供と教師のための効果的な学力向上検証改善サイクルの確立」
- (4) 「家庭と連携を図りながら、子供たちの学習習慣形成を促す取組の推進」

2 重点指標及び取組

令和6年度 第2回学力向上推進本部後の今後の取組に関する通知(2月)



Ⅱ 全国学力・学習状況調査の結果について

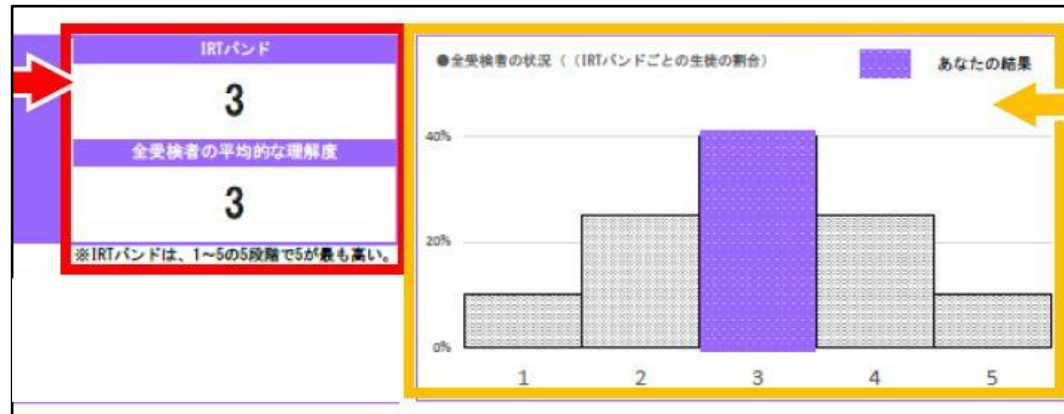
1 調査の概要

(1)目的	義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
(2)実施日	令和7年4月14日(月)～17日(木)
(3)対象	・小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の第6学年児童 ・中学校、義務教育学校後期課程及び特別支援学校中学部の第3学年生徒
(4)内容	①児童生徒：教科調査(国語、算数・数学、理科)/質問調査(オンライン実施) ②学 校：質問調査(オンライン実施) ※中学校理科はCBT(Computer Based Testing)にて実施
(5)本県の参加状況	・小学校 325校(約15,000人) ・中学校 164校(約14,000人) (熊本市を含む公立小中学校等)

1 調査の概要 今年度の調査の特徴

- 中学校理科は、CBTでの実施
- 「中学校理科」個人票には、5段階のIRTバンドで表示(細かな差異にとらわれすぎることなく、個別の児童生徒の課題把握と指導改善に生かす趣旨)

【参考】



- 児童生徒の学びへの還元を最優先に、学校への結果返却の時期を前倒し (R6 7/26 ⇒ R7 7/14)
- 結果公表を3段階に (結果公表①7/14 結果公表②7/31 結果公表③8月以降)

2 教科に関する調査結果

○本県の平均正答数・平均正答率・平均IRTスコア
上段は平均正答数/問題数、下段()は平均正答率

学年		小学6年			中学3年		
教科区分		国語	算数	理科	国語	数学	理科 (IRTスコア)※
R7	本県	9. 3/14問 (66%)	8. 8/16問 (55%)	9. 7/17問 (57%)	7. 4/14問 (53%)	6. 6/15問 (44%)	497
	全国	9. 4/14問 (66. 8%)	9. 3/16問 (58. 0%)	9. 7/17問 (57. 1%)	7. 6/14問 (54. 3%)	7. 2/15問 (48. 3%)	503

※IRT(項目反応理論:Item Response Theory)とは、児童生徒の正答・誤答が、問題の特性(難易度、測定精度)によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。
※IRTスコアとは、各設問の正誤パターンの状況等から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの。

2 教科に関する調査結果

【小学校】

本県の正答率・IRTスコアの分布

箱ひげ図



最大値

第三四分位（75パーセンタイル）

中央値（50パーセンタイル）

第一四分位（25パーセンタイル）

最小値

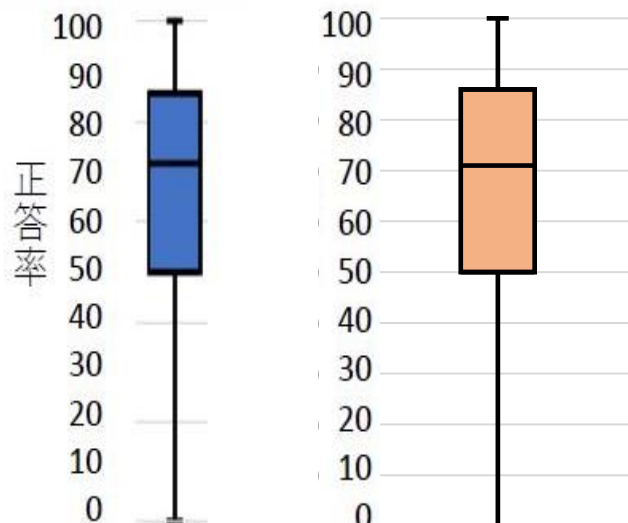
パーセンタイル

計測値の統計的分布の上で、小さい方から数えて何%目の値は、どれくらいかという見方をする統計的表示法

国語

全国

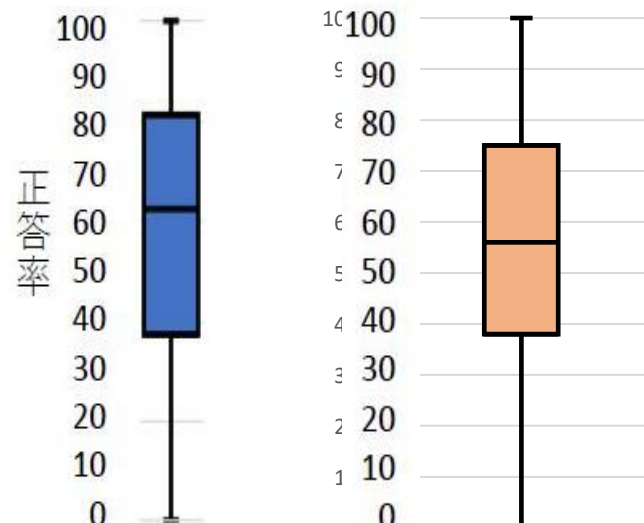
本県



算数

全国

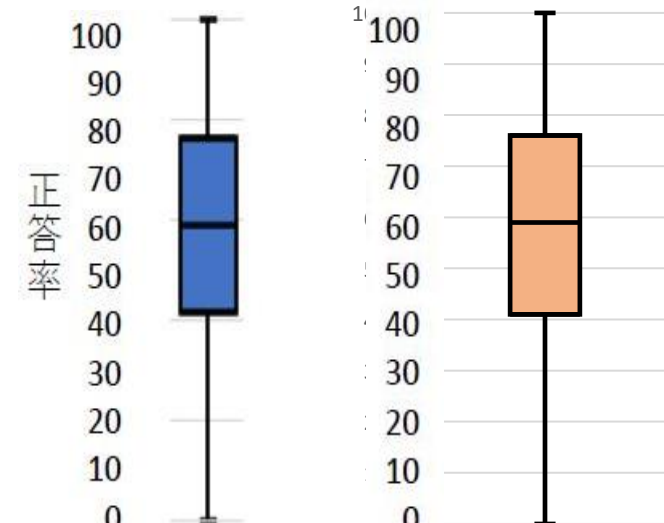
本県



理科

全国

本県



〇ばらつきについては、国語と理科は、全国とほぼ同じ傾向であるが、算数では、全国の方が箱の上辺に当たる75パーセンタイル(第3四分位数)が高いことが分かる。

2 教科に関する調査結果

【中学校】

本県の正答率・IRTスコアの分布

箱ひげ図



最大値

第三四分位 (75パーセンタイル)

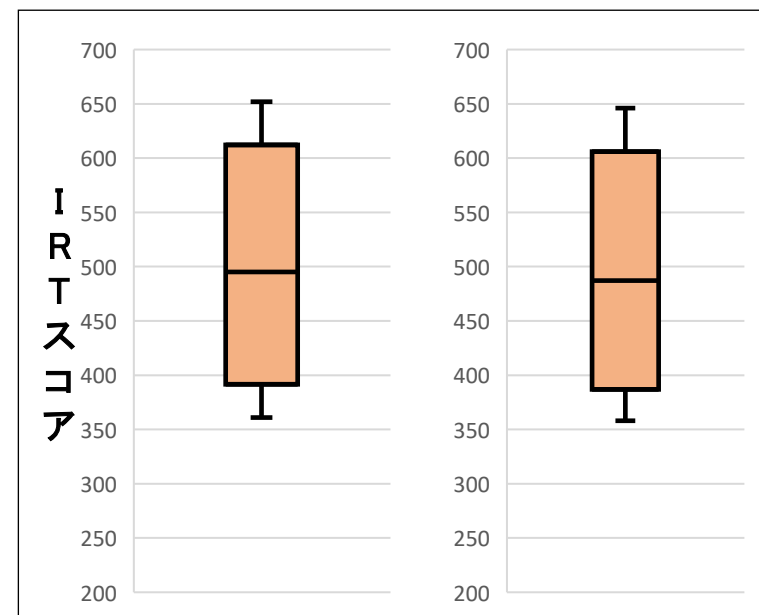
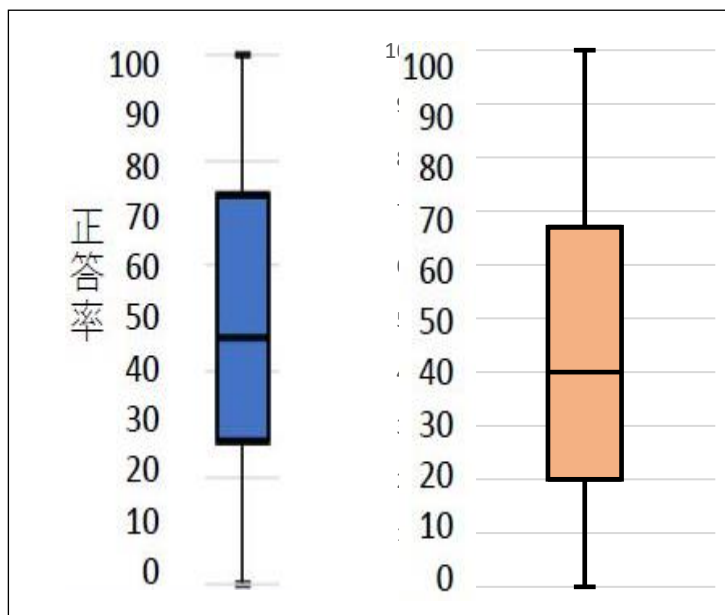
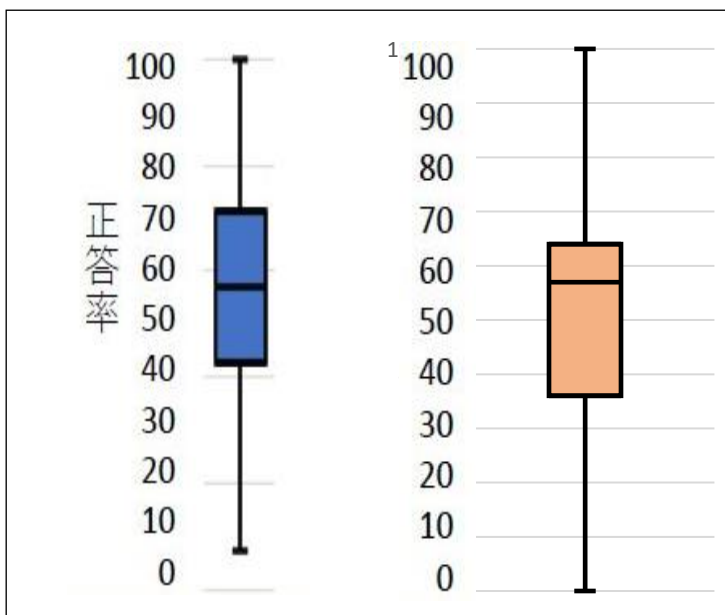
中央値 (50パーセンタイル)

第一四分位 (25パーセンタイル)

最小値

パーセンタイル

計測値の統計的分布の上で、小さい方から数えて何%目の値は、どれくらいかという見方をする統計的表示法



○ばらつきについては、理科は、全国とほぼ同じ傾向であるが、国語と数学では、全国の方が箱(四分位範囲)が高いことが分かる。

2 教科に関する調査結果

各教科のポイント(○成果 ●課題)

【国語】

- 調べたことが読み手に伝わるように、自分の考えを書くこと。
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。
- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。

【算数・数学】

- 数量の関係について、適切なグラフを選択し、言葉や数を用いて記述すること。
- 「素数」や「外角」、「相対度数」など、数学の用語の意味を理解すること。

【理科】

- 実験の結果や考察を基に、条件を変えて行った実験の結果を予想して、表現すること。
- 複数の実験等の結果から問題を解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現すること。
- 複数の実験の結果等を関連付けて、自然の仕組みについて考え、表現すること。

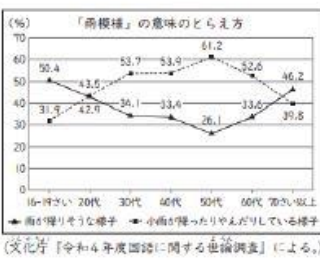
2 教科に関する調査結果 小学校国語(読むこと)

●目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。

小学校
国語3 三(1)

資料を基に言葉の変化について話し合っている場面で、発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する

【資料4】



言葉の変化については、いろいろな考え方があんだね。
もう一度「資料1」を読み返して、言葉の変化について自分が一番納得したことをまとめよう。

私は、この資料（「資料4」）を見つけたよ。
これを見ると、世代によって、「雨模様」の意味の
しらべ方にちがいがあることが分かるでしょ。
本当だ。二十代から六十代は本来の意味とは
ちがう「小雨が降ったりやんだりしている様子」と
とらえている人の割合が高いね。
こんなふうに、人によって言葉の意味のしらべ方
がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから、
「資料1」に「A」と
書かれているとおもうよ。

三 木村さんは、言葉の変化について田中さんと話し合いながら、「資料1」を読み返しています。
次の「話し合いの様子」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。
【話し合いの様子】
ぼくが読んだ二つの資料（「資料2」、「資料3」）には、言葉が変化している
ことが書かれていたよ。「資料1」に「言葉の正誤を軽々しく決めることは
できない」と書かれていることになっているよ。

【資料2】

「あたらしい」は新しい形
「ふんいき」ということばを「ふんいき」と
言う人が多くなりました。こう言うと、
「たいへんだ、日本語がこわれてしま
う」と思う人がいるかもしれません。
でも、心配しないでください。にたよ
うなことは、昔からよくあることです。
「でさだばかり、また古くない」という意
味で、私たちは「新しい」と言います。
でも、大昔の奈良時代には、「あたらし
」と言っていました。今でも、「新しく」と
いう意味で「あたらし」と言うでしょ。
「あたらし」は、大昔から使われていまし
た。ところが、次の平安時代には「あた
らし」が「あたらし」になりました。「た
とら」の順番が入れかわっていますね。
つまり、「あたらし」に比べれば、「あた
らし」は新しい形です。それが変化して
今では「あたらしい」になりました。

【資料3】

今、あなたは「勉強がとてでもできる」という言い方を変えたいと思
わないでしょう。「とてでも」は「非常に」の意味を表します。
ところが、1000年ほど前の大正時代、作家の芥川龍之介は、
「とても安い」「とても寒い」という言い方は新しいと書いていま
す。それより前の時代には、「とてもかわない」「とてもまど
まらない」のように、「とてもくさい」の形で言ったというのです。
つまり、大正時代より前は、「勉強がとてでもできる」とは言わ
ず、「ばくには、そんなことはとてでもできない」と言っていたん
ですね。この場合の「とてでも」は、「どうしても」「どうてい」とい
う意味を表します。
こんな話を聞くと、「じゃあ、これからは「とてもできない」と
言おう」「とてもできる」とは言わないようにしよう」と思うかも
しれません。でも、その必要はありません。
もった古い時代、室町時代には、「とても」は「どうせ」の意味
で使っていました。たとえば、「とても散るべき花」と言えば、
「どうせ散る花」という意味です。
ことばを昔の意味だけで使おうと思ったら、現代では暮らさな
くなってしまいます。昔はどうだったかを知ることは大事ですが、
「現代ではどう使われているか」を理解することも大事です。現代
の人は、ことばを現代の意味で使うのが一番いいのです。

【資料1】

3 木村さんの学級では、言葉の変化について学ぶために、みんなで「資料1」を読みました。そして、
「資料1」を読んで一人一人が疑問や興味をもったことについて調べ、分かったことをもとに考えを
まとめることにしました。「資料1」をよく読んであとの問いに答えましょう。
言葉は、年月とともに変化していくものです。かつて規範的であったと考えられていた言葉の形や意味が、
現代においては通用しなくなったり、使い方が変わってたりする場合は少なくありません。
ですから、意味や使い方に揺れが生じている言葉について、「この使い方が正しい」と決めつける
のは短絡的ともいえるでしょう。①この本を読むとお気づきになると思いますが、文化庁国語課では、
言葉の意味について「正しい」「誤り」といった判断をせず、代わりに、「本来の意味」「本来とは違う
使い方」といった言い方にとどめています。言葉の正誤を軽々しく決めることはできないと考えるから
です。
とはいえ、どんな言葉を使ってもいい、というわけではありません。③コミュニケーションの食い違い
を放置しておくわけにもいきません。
④「言葉は生きている」とも言われます。その広がりや深さにも、触れていただきたいと思います。
（文化庁国語課「文化庁国語課の動き」より）
※1「規範」……判断したり行動したりするときの手本。
※2「短絡」……よく考えもせずに、ものごとを簡単に結びつけてしまうこと。
※3「文化庁」……文化や芸術を広める仕事や、文化財を守る仕事などをする、国の機関。

2 教科に関する調査結果 小学校国語(読むこと)

●目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。

小学校
国語3 三(1)

資料を基に言葉の変化について話し合っている場面で、発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する

【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する問題

正答 〔正答率〕 本県38.8% 全国40.8%	3 ③コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません
誤答例	「2 ②『本来の意味』『本来とは違う使い方』といった言い方にとどめています」を選択した児童の中には、「人によって言葉の意味のとらえ方がちがう」ことを「本来の意味」「本来とは違う使い方」であると考え、複数の資料を結び付けようとしたが、必要な情報を整理し切れなかった児童がいたと考えられる。

複数の資料を結び付けながら、必要な情報を整理することなどに課題がある児童がいる。

2 教科に関する調査結果 中学校国語(書くこと)

●書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えること。

中学校
国語1 三

書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を
えることができるかどうかをみる

【ちらし】(更新版①)

第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。

私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。

~~体験コーナーでは、中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。~~

日時

令和7年11月15日(土) 10時~16時

場所

第一中学校 体育館

会場図

出入口

受付

1年生の作品
すいさいが
(水彩画)

2年生の作品
(ポスター)

体験コーナー
(ペン立てづくり)

3年生の作品
ちようこく
(彫刻)

体験できる時間(各回30分間)

①10時~

②11時~

③12時~

④13時~

中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくる
ことができます。

三 中井さんは、【ちらし】(更新版①)のように、——線の部分を削除して の中に書き加えました。その意図を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 具体例を示したあとに要点を示すことで、中心となる情報に対する読み手の理解を深めようとした。
- 2 伝えるべき事柄に見出しを付けることで、読み手に速やかに情報を伝えようとした。
- 3 情報を示す位置を整理することで、関連する情報を読み手がまとめて得られるようにした。
- 4 時間の流れに沿って情報を示すことで、読み手が必要とする情報を見付けやすくした。

14

2 教科に関する調査結果 中学校国語(書くこと)

●書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えること。

中学校
国語1 三

書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることができるかどうかをみる

案内の【ちらし】の構成を修正した意図を説明したものとして、適切なものを選択する問題

正答 〔正答率〕 本県60.3% 全国63.3%	3 情報を示す位置を整理することで、関連する情報を読み手がまとめて得られるようにした。
誤答例	2は、吹き出しの中に書かれている「体験できる時間(各回30分間)」が見出しであると誤って捉えたものと考えられる。 4は吹き出しの中に書かれている①～④の開始時刻を、時間の流れに沿って情報を示したものであると誤って捉えたものと考えられる。

【ちらし】の中の情報や構成の意図を捉えることに課題がある生徒がいる。

2 教科に関する調査結果 小学校算数(データの活用)

●数量の関係について、適切なグラフを選択し、言葉や数を用いて記述すること。

小学校
算数1(2)

目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる

(2) あいりさんは、自分たちが住んでいる都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかを調べています。調べていると、2013年と2023年について、右のグラフ2とグラフ3を見つけました。



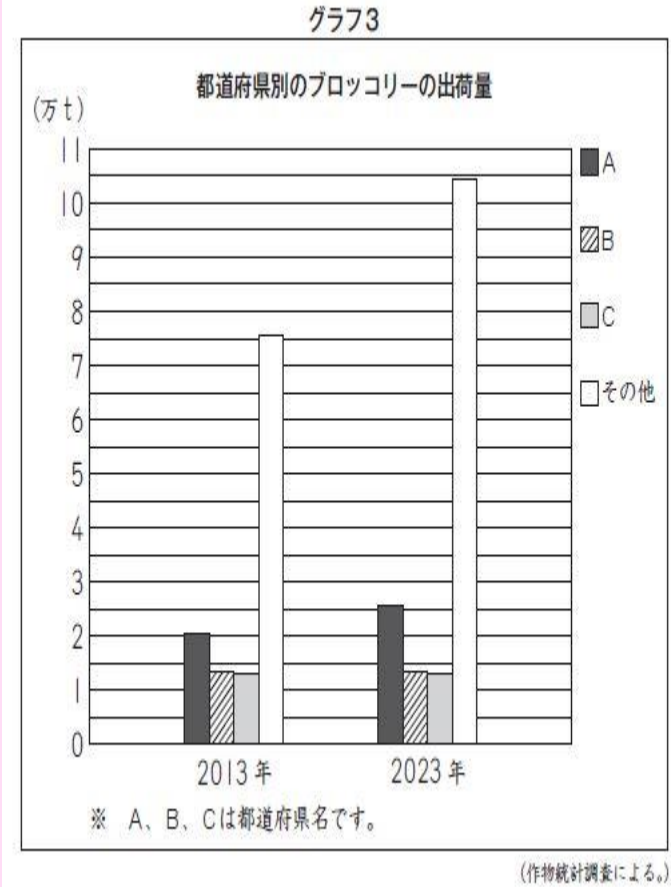
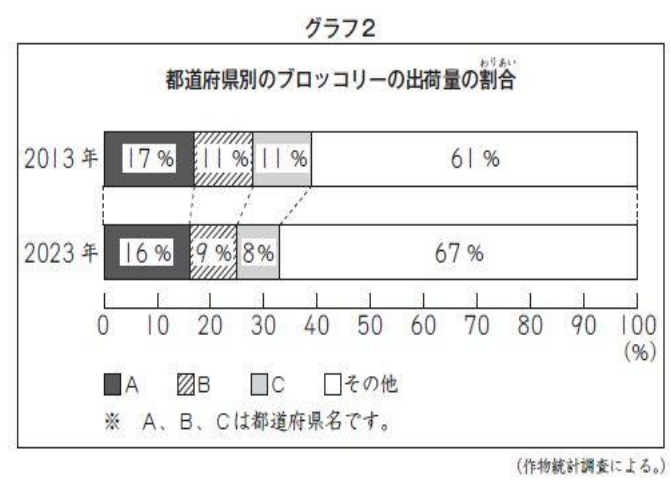
グラフ2とグラフ3を見つけたけれど、どちらか一つのグラフを見れば、都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかわかります。

2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013年より増えたかどうかを、下の ア と イ から選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかがわかるようにしましょう。

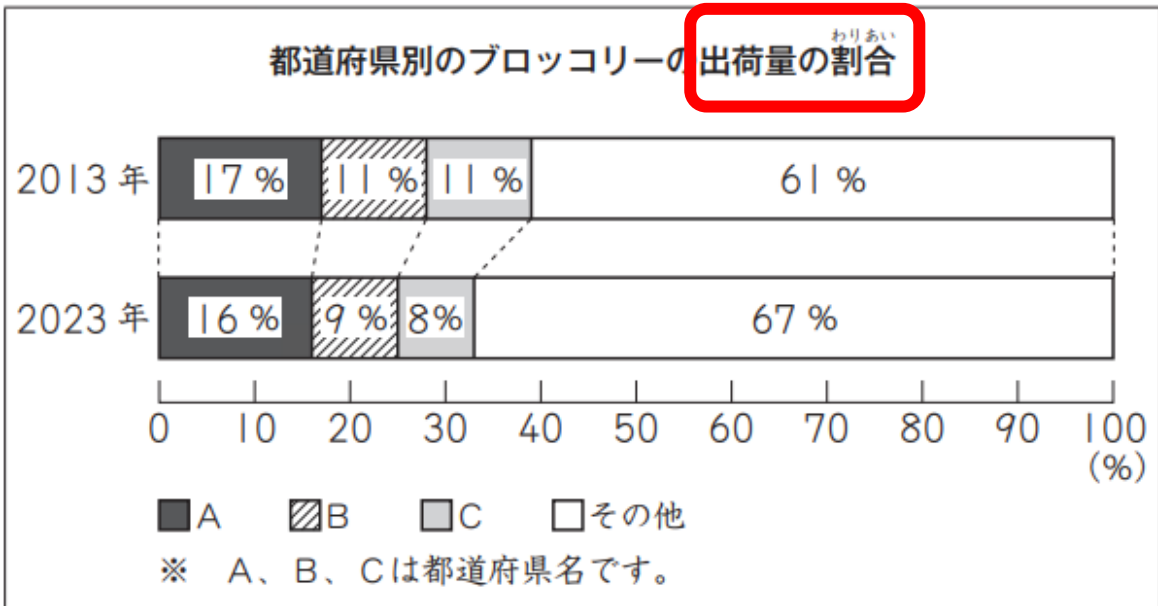
ア 2023年は2013年より増えた。

イ 2023年は2013年より減った。



2 教科に関する調査結果 小学校算数(データの活用)

グラフ2

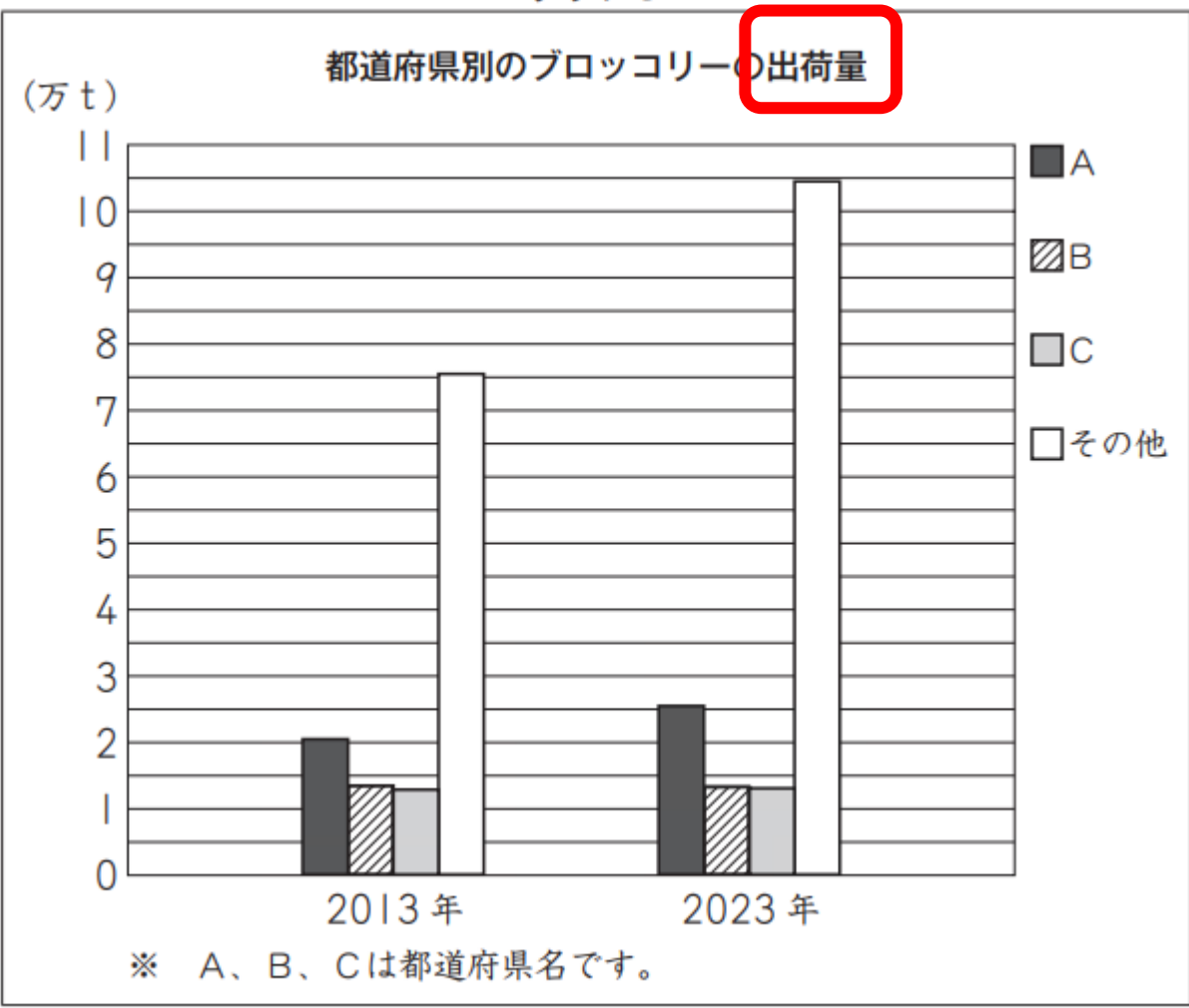


2023 年の都道府県 A のブロッコリーの出荷量が、2013 年より増えたかどうかを、下の ア と イ から選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかがわかるようにしましょう。

- ア 2023 年は 2013 年より増えた。
- イ 2023 年は 2013 年より減った。

グラフ3



(作物統計調査による。)

2 教科に関する調査結果 小学校算数(データの活用)

●数量の関係について、適切なグラフを選択し、言葉や数を用いて記述すること。

小学校 算数1(2)	目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる
---------------	---

グラフを選択し、その理由を言葉や数を用いて書く問題

正答 〔正答率〕 本県30.2% 全国31.0%	アを選び、「グラフ3を表す言葉」「2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013年より多いことを表す言葉」の全てを書いている。
誤答例 本県24.9% 全国23.3%	イを選び、都道府県Aのブロッコリーの出荷量の割合について書いている。

出荷量を表すグラフを選択して、データの特徴と傾向を捉え、判断することに課題がある児童がいる。

2 教科に関する調査結果 中学校数学(数と式)

●「素数」や「外角」、「相対度数」など、数学の用語の意味を理解すること。

中学校数学1

素数の意味を理解しているかどうかをみる

1 下の1から9までの数の中から素数をすべて選び、選んだ数のマーク欄を黒く塗りつぶしなさい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

2 教科に関する調査結果 中学校数学(数と式)

●数量の関係について、適切なグラフを選択し、言葉や数を用いて記述すること。

中学校数学1 素数の意味を理解しているかどうかをみる

素数の意味を理解しているかどうかをみる問題

正答 〔正答率〕 本県22.1% 全国31.8%	2、3、5、7と解答している。
誤答例	1、2、3、5、7と解答している。

素数は、2、3、5、7に加えて1も含まれると捉えている生徒がいる。

2 教科に関する調査結果 中学校数学(データの活用)

●「素数」や「外角」、「相対度数」など、数学の用語の意味を理解すること。

中学校数学5

相対度数の意味を理解しているかどうかをみる

- 5** 下の表は、ある学級の生徒 40 人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表です。

ハンドボール投げの記録

階級 (m)	度数 (人)
以上 未満 5 ~ 10	3
10 ~ 15	8
15 ~ 20	9
20 ~ 25	10
25 ~ 30	6
30 ~ 35	3
35 ~ 40	1
合計	40

20 m 以上 25 m 未満の階級の相対度数を求めなさい。

2 教科に関する調査結果 中学校数学(データの活用)

●数量の関係について、適切なグラフを選択し、言葉や数を用いて記述すること。

中学校数学5

相対度数の意味を理解しているかどうかをみる

20m以上25m未満の階級の相対度数を求める問題

正答 〔正答率〕 本県34.0% 全国42.5%	0.25 と解答している。
誤答例	10 と解答している。

階級の相対度数と階級の度数を混同している生徒がいる。

2 教科に関する調査結果 小学校理科

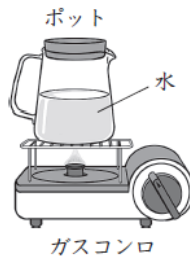
- 複数の実験等の結果から問題を解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現すること。

小学校 理科4(1)

水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができるかどうかをみる。

4

ひろみさんとゆういちさんは、ポットの水をガスコンロの火で温めていると、水の中でモヤモヤしたものが、上へ動いていくように見えることに気づきました。



ゆういちさんたちは、次のような【問題】を調べることにしました。

【問題】

ビーカーの底の中心を温めたとき、水はどのように温まるのだろうか。

【問題】を解決するために、下のような【方法】で実験をしました。

【方法】

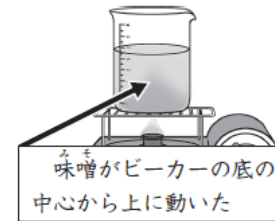
- ① 500 mL のビーカーに 300 mL のお湯を入れる。
- ② ①に味噌を少量入れ、よく混ぜてからしばらく置いて冷ます。
- ③ 実験用ガスコンロでビーカーの底の中心を温め、味噌の動きを見る。
- ④ 味噌の動きを確かめられたら、火を消す。

【結果】

温める前のようす



温めたときのようす



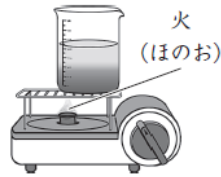
ゆういちさんは、【結果】をもとに【問題に対するまとめ】を考えました。



【問題に対するまとめ】

ビーカーの底の中心を温めたとき、水の温められた部分が上へ移動して、全体が温まる。

ビーカーの底のはしを火で温めて、水の温まり方を調べたね。そのときは、水の温度と、水の動きを調べ、水の温められた部分为上へ動き全体が温まることを学習したよ。



ビーカーの底の中心を火で温めたときも、水は同じように温まるのかな。



ゆういちさんがまとめてくれて気づいたのだけど、この実験の【結果】だけでは、そのようなまとめはできないと思うな。この実験では、水の（ア）について調べていないのだから。



(1) 上のふきだしの（ア）にあてはまることばを書きましょう。

2 教科に関する調査結果 小学校理科

- 複数の実験等の結果から問題を解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現すること。

小学校 理科4(1)	水の温まり方について、問題に対するまとめを導きだす際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができるかどうかをみる。
---------------	---

水の「温度」と「動き」に着目しなければならないが、本実験では、「動き」しか検証できないことに気付き、実験方法を見直す問題

正答 〔正答率〕 本県49.7% 全国50.6%	水の温められた部分の温度に関する内容について書いている。
誤答例	ビーカーの中の味噌の動きに関する内容について書いている。 水や味噌の量に関する内容について書いている。

問題の検証には水の「温度」と「動き」の2つを調べる必要があることや本実験では水の「動き」しか検証できないことに気付き、問題に対して観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することに課題がある児童がいる。

3 教科に関する調査結果 中学校理科(地球を柱とする領域)

●複数の実験の結果等を関連付けて、自然の仕組みについて考え、表現すること。

中学校
理科1(3)

露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できるかどうかをみる

水道水のもとになる水について調べる

水道水はどのような水を利用していますか。

水道水は河川の水、雨水などが地層を通してしみ出した水を利用しています。

雨水などが地層を通してしみ出した水を調べてみたいです。

この地域に露頭から水がしみ出ているところがあります。調べに行きましょう。

地層の境目から水がしみ出しているね。

地層の性質と関係があるのかな。それぞれの地層を観察してみよう。

ろ過の仕組みと同じように考えるとよいですね。

地層1
地層2
地層3
地層4

地層1
大きな粒で構成され、粒と粒の間にすき間があるので、水は通り抜ける。
れきの層

地層1
大きな粒で構成され、粒と粒の間にすき間があるので、水は通り抜ける。
れきの層

地層2
小さな粒で構成され、粒と粒の間に小さなすき間が観察された。すき間はれきの層より小さいが、水は通り抜ける。
砂の層

地層3
非常に小さな粒で構成され、粒と粒の間にすき間が観察されなかったため、水は通り抜けにくい。
泥の層

地層4
小さな粒で構成され、粒と粒の間に小さなすき間が観察された。すき間はれきの層より小さいが、水は通り抜ける。
砂の層

(3)
下線部の水がしみ出る位置として最も適切なものを、☐の中から1つ選びなさい。

① 最大1個選択できます

【地層の境目から水のしみ出ている露頭】

地層1
地層2
地層3
地層4

2 教科に関する調査結果 中学校理科(地球を柱とする領域)

地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できるかどうかをみる問題

地層 1



れきの層

大きな粒で構成され、
粒と粒の間に
すき間があるので、
水は通り抜ける。

地層 3



泥の層

非常に小さな粒で
構成され、
粒と粒の間に
すき間が観察され
なかったため、
水は通り抜けにくい。

地層 2



砂の層

小さな粒で構成され、
粒と粒の間に小さな
すき間が観察された。
すき間はれきの層
より小さいが、
水は通り抜ける。

地層 4



砂の層

小さな粒で構成され、
粒と粒の間に小さな
すき間が観察された。
すき間はれきの層
より小さいが、
水は通り抜ける。

2 教科に関する調査結果 中学校理科(地球を柱とする領域)

●複数の実験の結果等を関連付けて、自然の仕組みについて考え、表現したりすること。

中学校
理科1(3)

露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できるかどうかをみる。

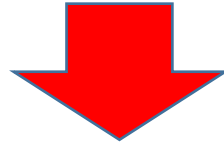
地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できるかどうかをみる問題

正答 〔正答率〕 本県35.1% 全国36.5%	地層2の下側にある青色の枠内を選んでいるもの。
誤答例	地層1の下側にある青色の枠内をえらんでいるもの。

すき間が観察されなかった地層3における粒の大きさと水の染み込み方を正しく解釈することと、地層3の観察結果と水が染み出す位置を適切に関連付けて捉えることができない生徒がいる。

2 教科に関する調査結果

問題や資料を読み取る力に課題



問題を読み取る力(読解力)を高める必要がある

【参考】読解力とは(PISA2018より)

測定する能力

情報を探し出す

- テキスト中の情報にアクセスし、取り出す
- 関連するテキストを探索し、選び出す

理解する

- 字句の意味を理解する
- 統合し、推論を創出する

評価し、熟考する

- 質と信ぴょう性を評価する
- 内容と形式について熟考する
- 矛盾を見付けて対処する

※ 自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、社会に参加するために、テキストを理解し、利用し、評価し、熟考し、これに取り組むこと。

【参考】読解力に関して

R6学力向上推進本部 委員の皆様の御意見より

○国語だけでなく、他の教科でも教科書や教材の「読み方」を学ぶことが必要ではないか。そのようなことを意識した教材研究が大切ではないか。

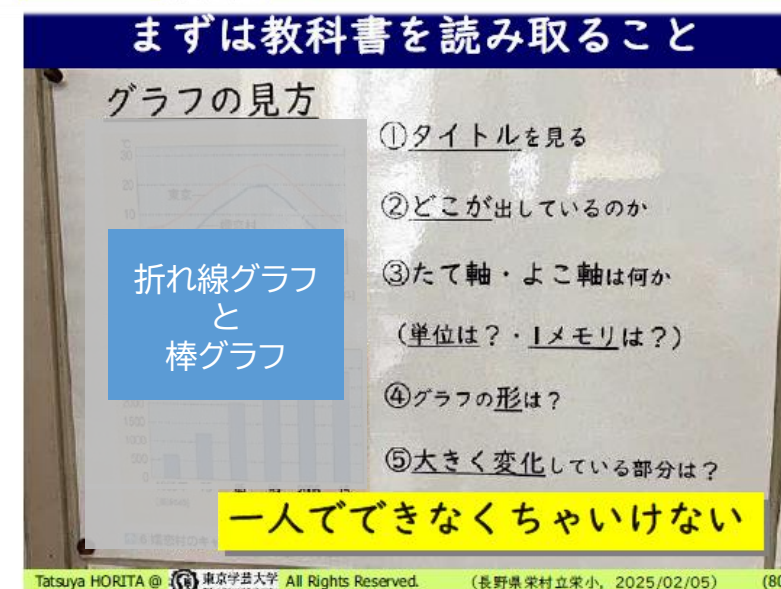
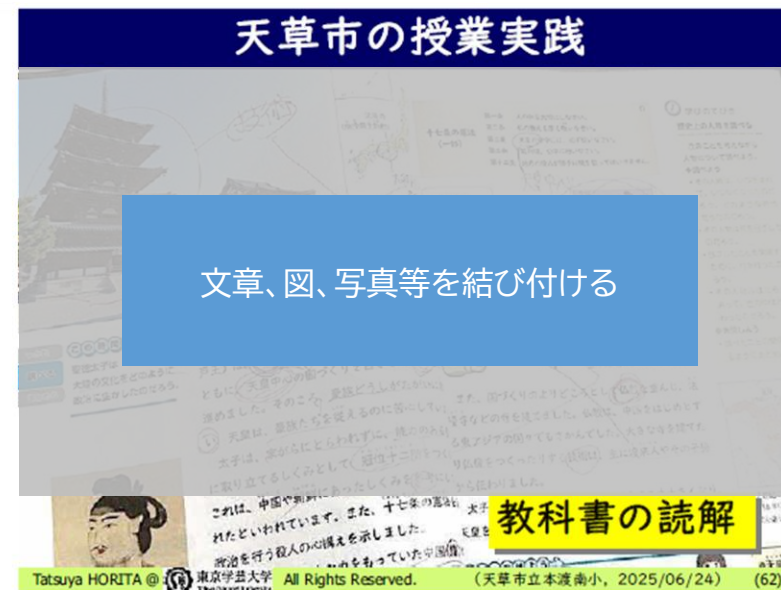
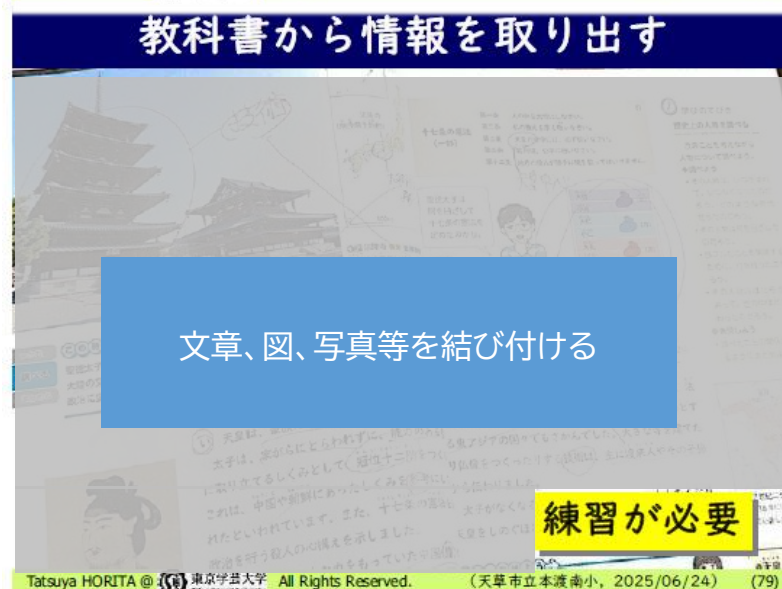
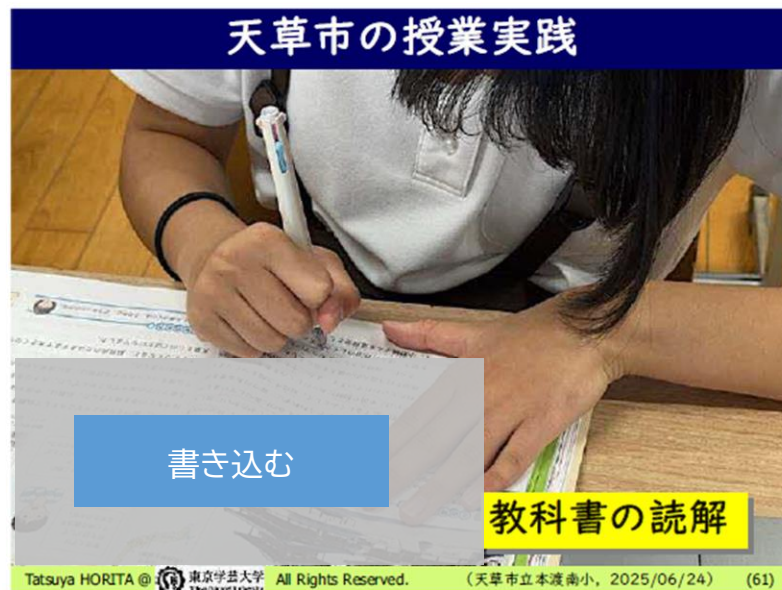
R7教科書選定審議会 委員の皆様の御意見より

- 教科書は、個別最適な学びや探究的な学びが進められるように工夫されているので、教科書が読めれば自分で予習・復習ができるようになるのではないか。
- 教科書を使わずに、プリントやタブレットだけで授業をしていることがある。

R7指導課長会議 委員の皆様の御意見より

- 授業で教科書を使いこなせていない。教科書を正しく読むことなど、学びの土台が身に付かないと全学調は十分に解けないのではないか。
- 指導教諭の公開授業があったが、子供も教材をかなり読み込んでいると感じた。
- ワークシートで進める授業は、児童生徒から大事な部分を読み取る力を奪っている。

【参考】読解力に関して



令和7年7月11日 教科等指導主事研修会 東京学芸大学 堀田教授講演資料より
「次期学習指導要領を踏まえた授業づくりと教師の学び」

3 質問調査結果【小6】

読解力に関する状況〔質問調査と学力のクロス分析〕(熊本県)

国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けていますか

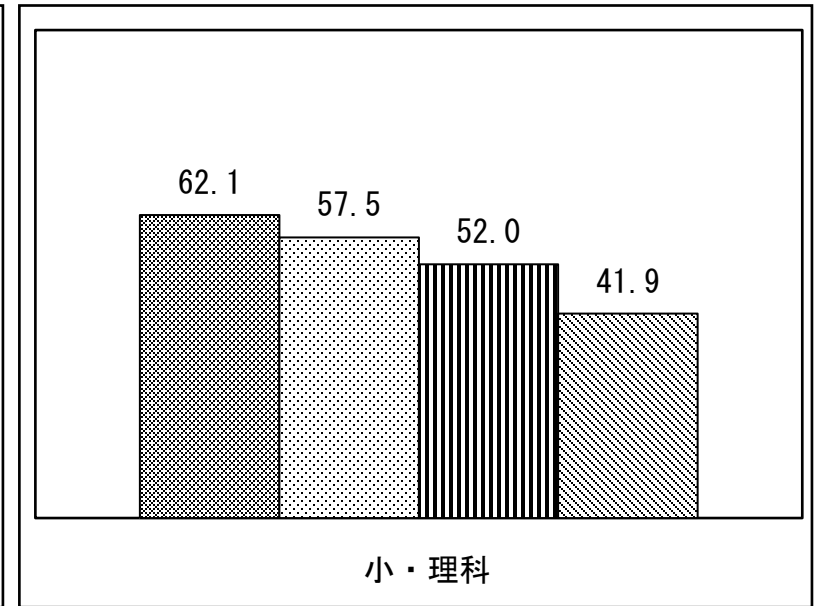
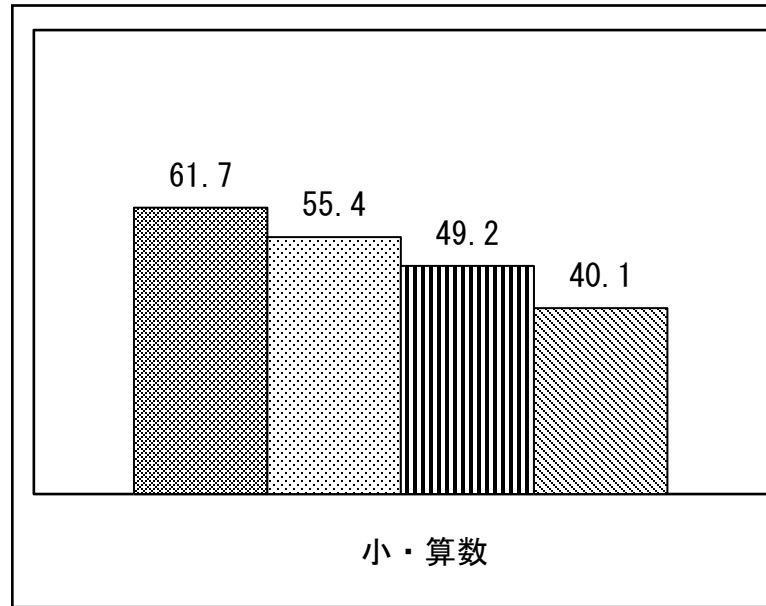
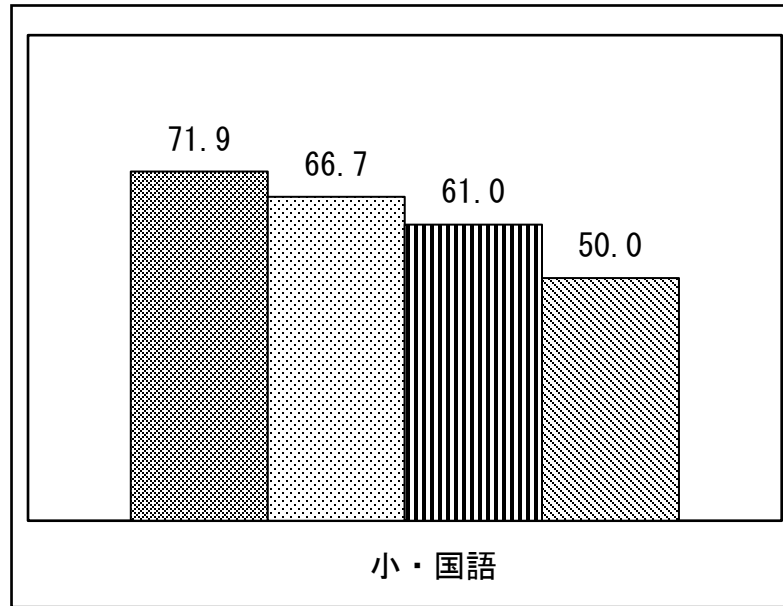
■ 当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまらない

■ 当てはまらない

※数値は、各層での平均正答率

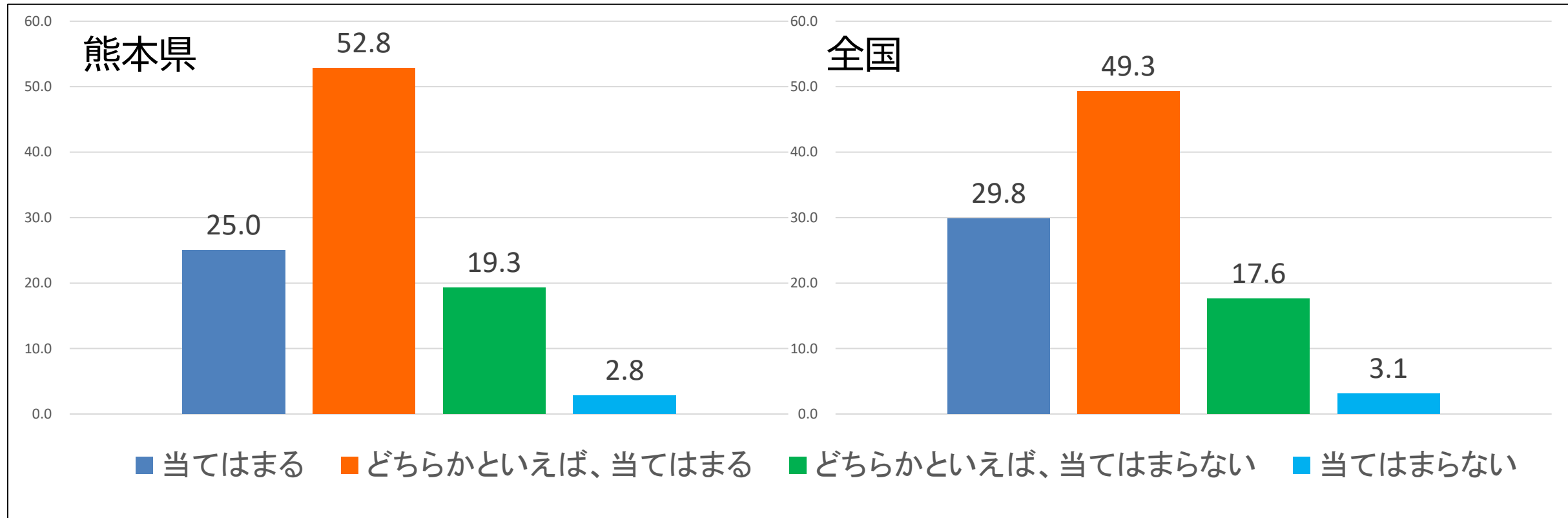


○「説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けている」と考える児童ほど、各教科の正答率が高いことが分かる。

3 質問調査結果【小6】

読解力に関する状況

国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けていますか



○本県では、「当てはまる」と考える児童の割合が高くなるよう授業の改善を図ることが大切である。

3 質問調査結果【中3】

読解力に関する状況〔質問調査と学力のクロス分析〕(熊本県)

文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができますか

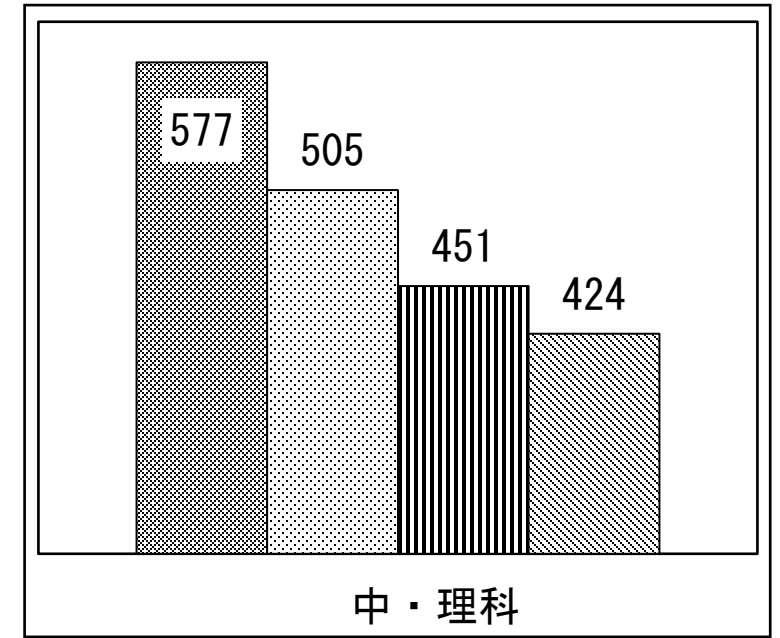
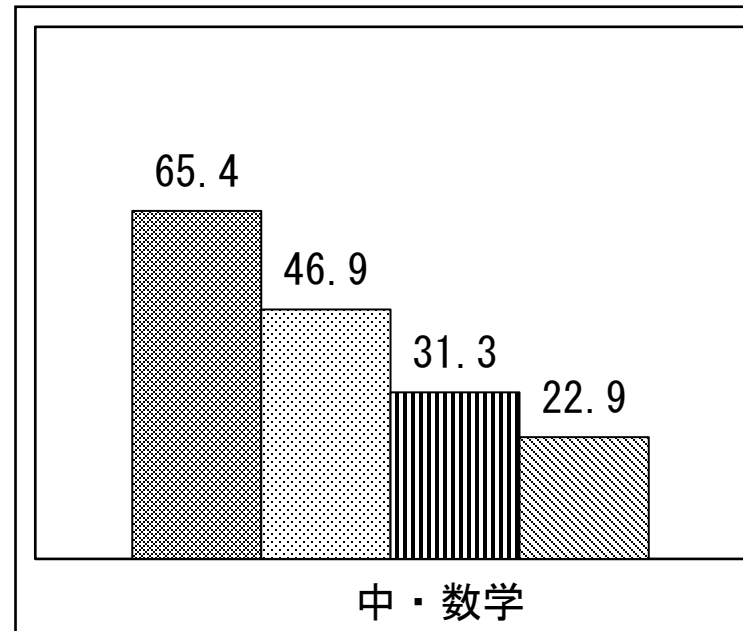
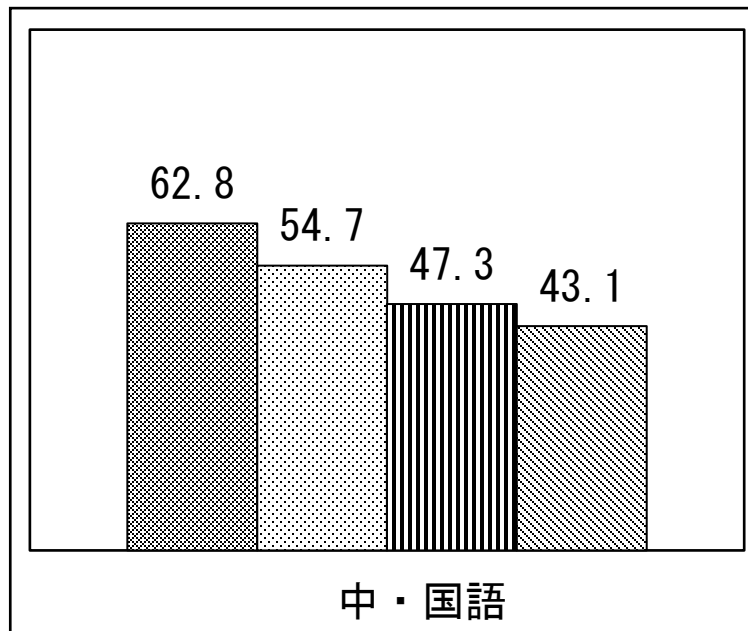
■ 当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまらない

■ 当てはまらない

※数値は、各層での平均正答率

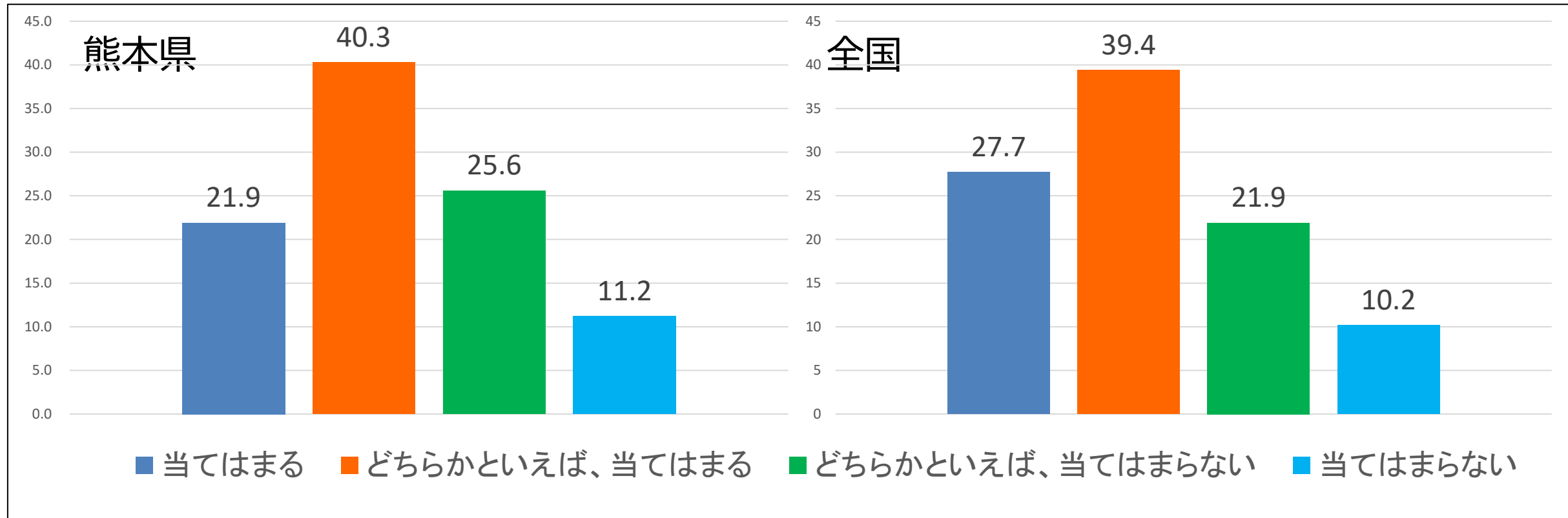


○「文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解している」と考える生徒ほど、各教科の正答率が高いことが分かる。

3 質問調査結果【中3】

読解力に関する状況

文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができますか



○本県では、「当てはまる」と考える生徒の割合が高くなるよう授業の改善を図ることが大切である。

3 質問調査結果【中3】

「文字式・証明を読んで理解できること」×「数学で説明する活動」×「中学校数学正答率」の関係

三重クロス集計

- 今年度の調査においては、「文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかっていることを理解することができるか」という生徒質問項目と、数学の正答率の間にも高い相関があることが確認された（P.68）。また、現行の学習指導要領においては、算数・数学の授業で「どのように考えたのかについて説明する活動」が重視されており、このような活動を行っている児童生徒ほど算数・数学の正答率が高い傾向が見られる。
- 文字式・証明を読んで理解できること、数学で説明する活動の実施状況について分析したところ、両方に肯定的に回答したグループ（理解○説明○）の中学校数学の正答率は、他のグループより高かった。

【文字式・証明を読んで理解できること】×【数学で説明する活動】×【中学校数学正答率】

【文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかっていることを理解することができますか。生徒【59】（新規）】

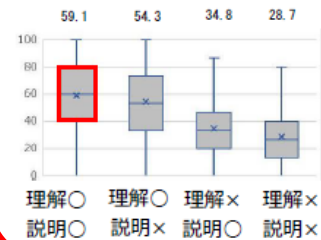
- 当てはまる（又は）どちらかといえば、当てはまる
- × どちらかといえば、当てはまらない（又は）当てはまらない

【数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか。生徒【58】】

- 当てはまる（又は）どちらかといえば、当てはまる
- × どちらかといえば、当てはまらない（又は）当てはまらない

グループ	人数（万人）
中学校	
理解○説明○	43.2
理解○説明×	17.5
理解×	9.6
理解×	19.0

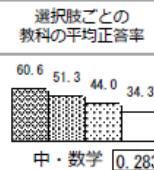
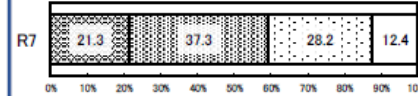
中学校数学 [0.441]



生徒【58】 数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか。

- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

中学校



分析

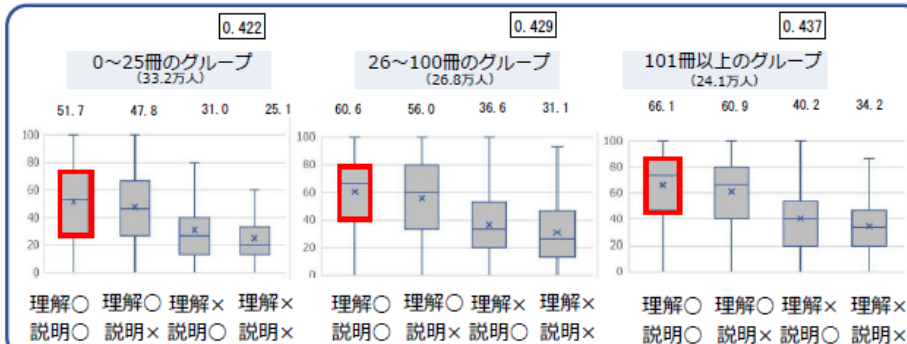
中学校数学では、
・読んで理解できること
・数学で説明する活動を行っていること
の両方に肯定的に回答したグループ（理解○説明○）の正答率を表す箱ひげ図の箱が最も上の位置（正答率が高い位置）にあり、いずれにも否定的に回答したグループ（理解×説明×）の箱が最も下の位置にある。

分析

読んで理解できること、数学で説明する活動を行っていることの両方に肯定的に回答したグループ（理解○説明○）の正答率が他のグループより高いという傾向は、家庭の社会経済的背景（SES: Socio-Economic Status）*別に見ても確認できる。

*全国学力・学習状況調査では、児童生徒質問調査での「家にある本の冊数」（生徒【22】）をSESの代替指標として利用している。

「中学校数学の正答率」



3 質問調査結果【小6中3】

重点指標について

		小学校		中学校	
		本県	全国	本県	全国
児童生徒	主体的・対話的で深い学び	【重点指標1】 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか (「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」の割合)			
		76.5% (-3.8)	80.3%	70.9% (-6.8)	77.7%
		【重点指標2】 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか (「発表していた」+「どちらかといえば、発表していた」の割合)			
授業の理解度		61.5% (-7.1)	68.6%	52.5% (-10.5)	63.0%
		【重点指標3】 国語の授業の内容はよく分かりますか (「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」の割合)			
		83.3% (+0.5)	82.8%	72.3% (-4.7)	77.0%
		77.2% (-1.1)	78.3%	63.0% (-7.3)	70.3%
		88.7% (-0.2)	88.9%	65.2% (-6.2)	71.4%

()は、全国との差

3 質問調査結果【小6】

主体的・対話的で深い学び 重点指標①〔質問調査と学力のクロス分析〕(熊本県)

5年生までの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

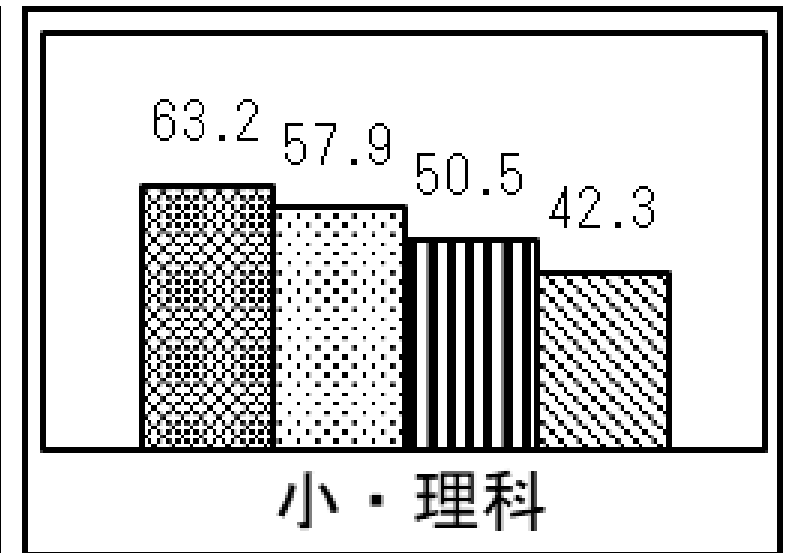
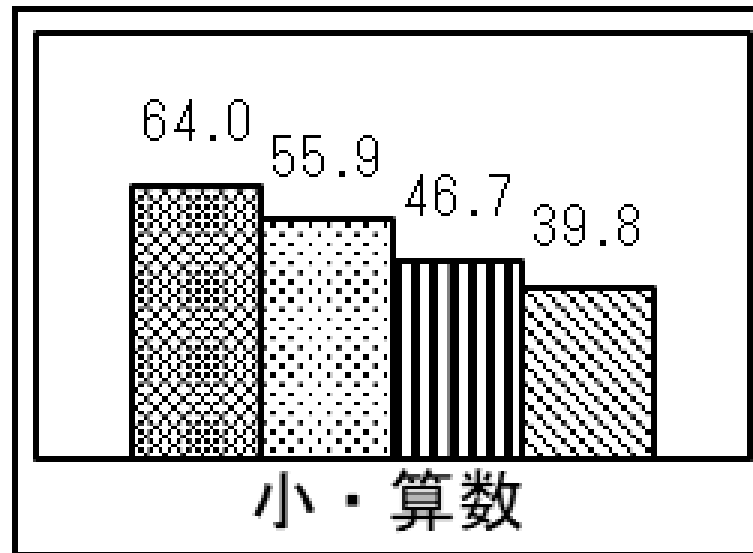
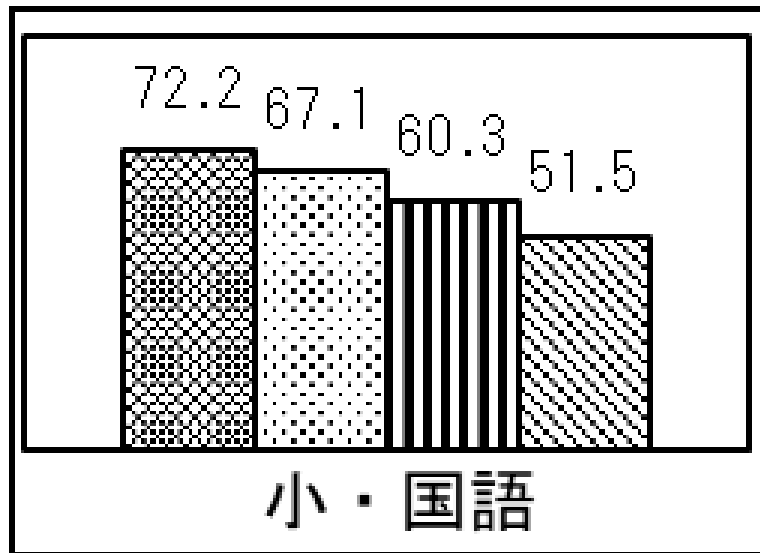
■ 当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまらない

■ 当てはまらない

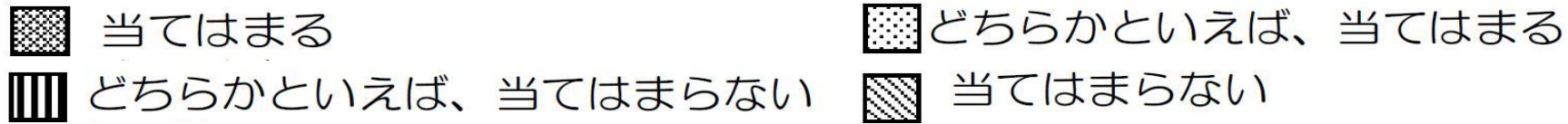
※数値は、各層での平均正答率



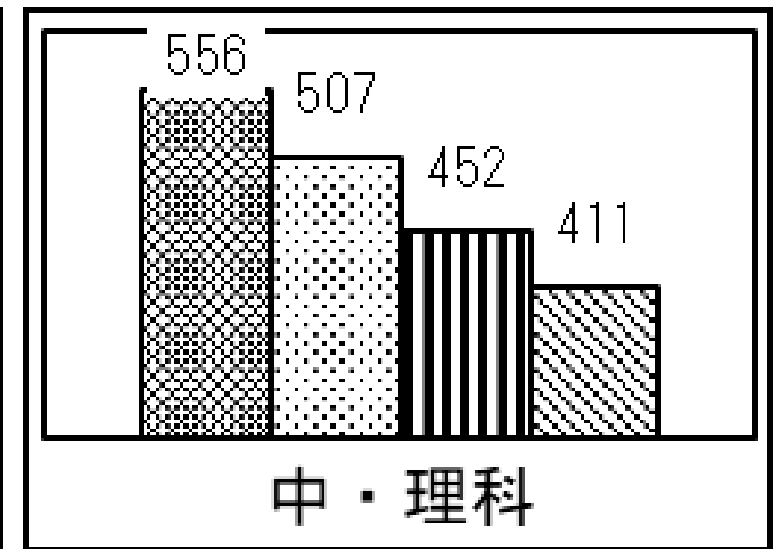
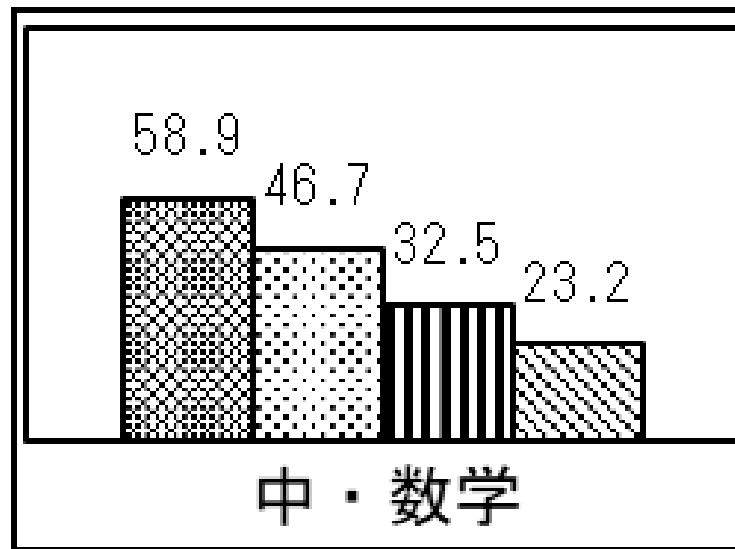
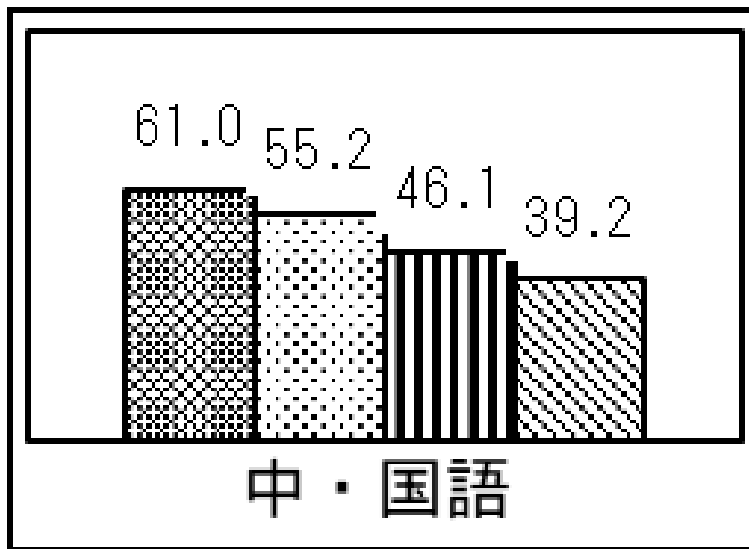
3 質問調査結果【中3】

主体的・対話的で深い学び 重点指標①〔質問調査と学力のクロス分析〕(熊本県)

1、2年生までの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



※数値は、各層での平均正答率



○主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考える児童生徒ほど、各教科の正答率が高いことが分かる。

3 質問調査結果【小6】

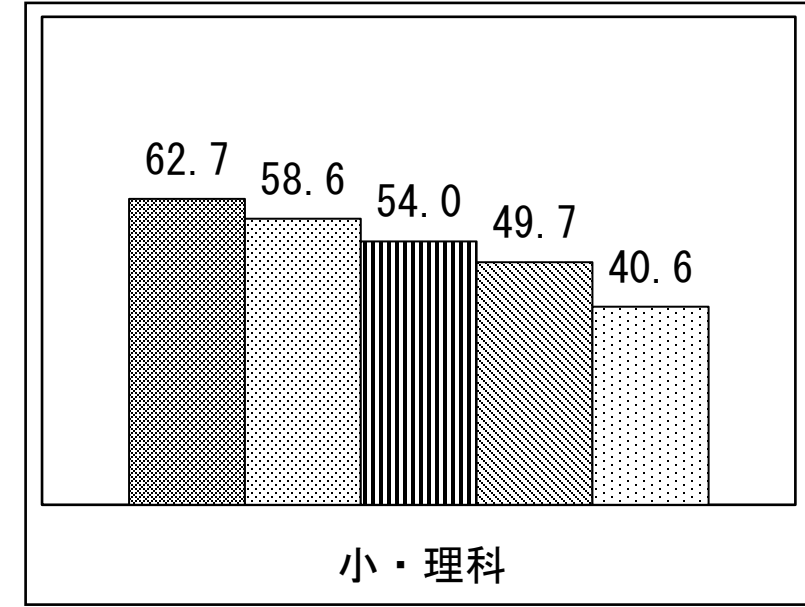
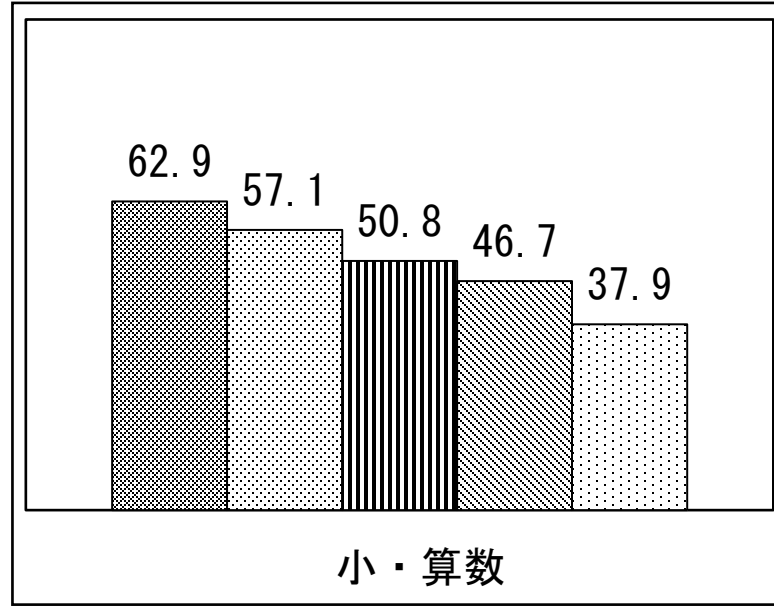
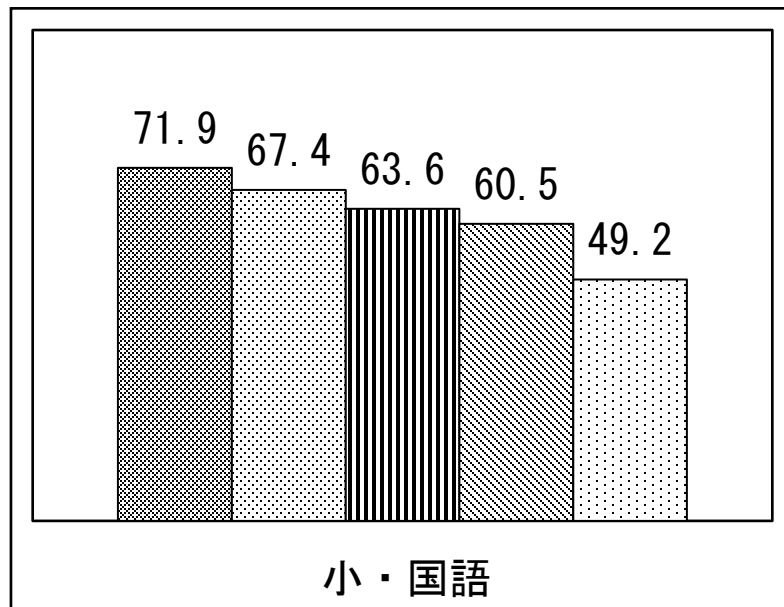
主体的・対話的で深い学び 重点指標②〔質問調査と学力のクロス分析〕(熊本県)

5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

発表していた
どちらかといえば、発表していなかった
考えを発表する機会はなかった

どちらかといえば、発表していた
発表していなかった
—

※数値は、各層での平均正答率



3 質問調査結果【中3】

主体的・対話的で深い学び 重点指標②〔質問調査と学力のクロス分析〕(熊本県)

1、2年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



発表していた

どちらかといえば、発表していた

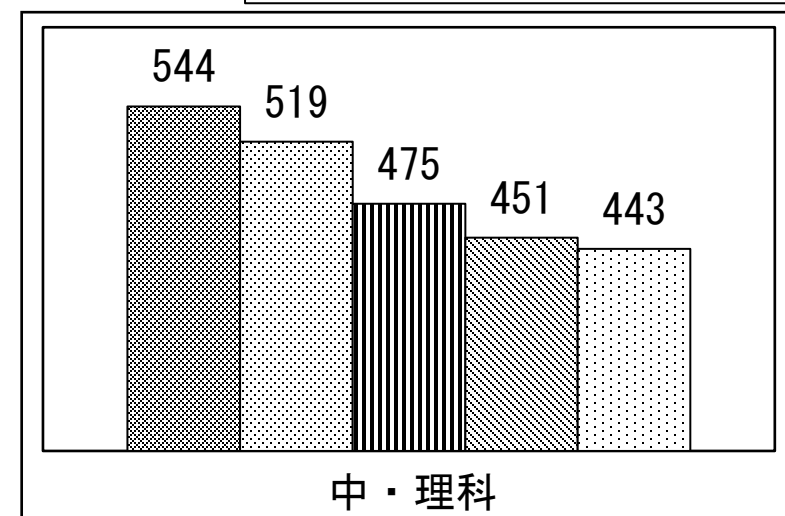
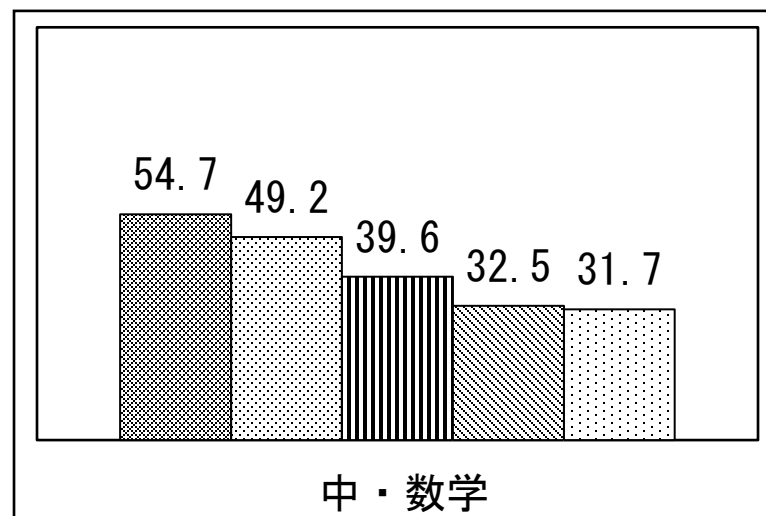
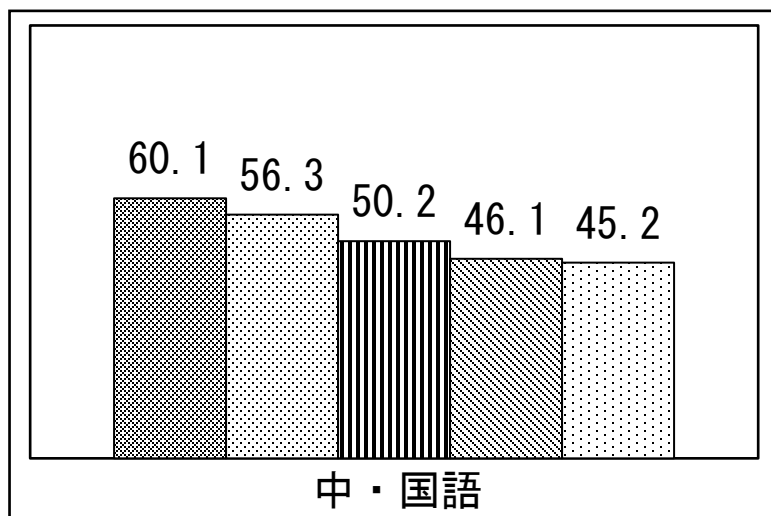
発表していなかった



発表していた

発表していなかった

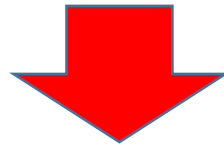
※数値は、各層での平均正答率



○「資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と考える児童生徒ほど、各教科の正答率が高いことが分かる。

3 質問調査結果

主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考える児童生徒ほど、各教科の正答率が高い



学びの主体性を高める必要がある

Ⅲ 今後の取組等について

1 学力向上検証改善サイクル

- 誰一人取り残さない
学びの保障と「児童生徒を学びの主体」とする授業力の向上を目指し、**学力向上検証改善サイクル**を確立する。

【参考】
令和7年2月27日付教義第
1010号通知

目標：誰一人取り残さない学びの保障と「児童生徒を学びの主体」とする授業力の向上を図る。 ～学力向上検証改善サイクルを確立させましょう～				
① Check 2～3月 令和6年度熊本県学力・学習状況調査から「重点指標」と「各学校が設定した指標」「分析結果」について記入します。校内研修等で学力・学習及び生活の状況と分析結果を共有しましょう。				
対象	質問項目 (肯定的に回答した割合)	県の結果	本校の結果 (担当学年・学級等の結果)	
児童 生徒	【重点指標1】 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	国語 74.6% 算数・数学 70.1%	()	
	【重点指標2】 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。	国語 66.7% 算数・数学 60.1%	()	
	【重点指標3】 授業の内容はよく分かりますか。	国語 86.0% 算数・数学 79.5%	()	
		算数・数学 81.0% 英語 65.6%	()	
	英語 77.0% 算数・数学 60.8%	()		
【各学校が設定した指標】				
	質問項目	結果		
		()		
【結果分析】				
熊本市学力・学習状況調査 (R7.12 実施)				
⑧ Do 9～1月 「児童生徒が学びの主体となる学習活動の設定とその内容の充実」や「児童生徒が「分かった」と実感できる授業の充実」、「教員が学びの主体となる校内研修等の充実」等に取り組ましましょう。				
⑦ Plan 8～9月 9月以降に学校総体で取り組むことを確認しましょう。 ☐ 「熊本の学び」プロジェクト校、道徳教育研究推進校等、公開授業や研究発表会への参加の計画 ☐ 県提供の資料(「全国学力・学習状況調査の結果分析資料」「くまナビ評価問題」等)の活用を計画 等				
⑥ Action 8月 課題の克服に向けて、県提供の資料等を活用して、学校総体や個人で取り組むことを決めましょう。 【学校総体で取り組むこと ※いつ・何を・どのようにに】 【個人で取り組むこと ※いつ・何を・どのようにに】				
② Action 2～3月 課題の克服に向けて、学校総体や個人で取り組むことを決めましょう。 ※参考「県学力・学習状況調査活用ステップシート」等 【学校総体で取り組むこと ※いつ・何を・どのようにに】 【個人で取り組むこと ※いつ・何を・どのようにに】				
③ Plan 3～4月 ①Check、②Action 等を踏まえ、「県提供の資料」「外部機関(指導主事、スーパーティーチャー等)」を校内研修の計画に位置付けて、年度当初の校内研修等で共有しましょう。児童生徒の学習状況を次の学年の担当者や中学校へ引き継ぎましょう。 【校内研修等の計画に関すること】 ☐ 「熊本の学び」わくわくサークルや教育センター等が実施する研修等への参加の計画 ☐ スーパーティーチャー、スクールアシスト等の外部機関の活用を計画 ☐ 県提供の資料(「校内研修で活用できる資料」「Kyo サボ」等)の校内研修への位置付け 等 【引き継ぎに関すること】 ☐ 取組状況の振り返り ☐ 次学年、中学校への引き継ぎ ☐ 新学年で取り組むことの確認 等				
④ Do 4～7月 「児童生徒が学びの主体となる学習活動の設定とその内容の充実」や「児童生徒が「分かった」と実感できる授業の充実」、「教員が学びの主体となる校内研修等の充実」等に取り組ましましょう。 ○フォローアップドリル等(5月まで利用可) ○くまナビ評価問題の活用 等				
⑤ Check 8月 令和7年度全国学力・学習状況調査から「重点指標」と「各学校が設定した指標」「分析結果」について記入します。校内研修等で学力・学習及び生活の状況などの分析結果を共有しましょう。				
対象	質問項目 (肯定的に回答した割合)	県の結果	本校の結果 (担当学年・学級等の結果)	
児童 生徒	【重点指標1】 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。		()	
	【重点指標2】 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。		()	
	【重点指標3】 授業の内容はよく分かりますか。	国語	()	
		算数・数学	()	
			()	
【各学校が設定した指標】				
	質問項目	結果		
		()		
【結果分析】				

1 学力向上検証改善サイクル

各学校の取組 例

7～8月①

・国及び県の資料を参考に、**自校の結果を分析**する。



・**校内研修等で学力・学習及び生活の状況などの分析結果を共有**する。



⑤ Check
8月

令和7年度全国学力・学習状況調査から「重点指標」と「各学校が設定した指標」「分析結果」について記入します。校内研修等で学力・学習及び生活の状況などの分析結果を共有しましょう。

対象	質問項目 (肯定的に回答した割合)		県の結果	本校の結果 (担当学年・学級等の結果)
児童 生徒	【重点指標1】 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。			()
	【重点指標2】 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。			()
	【重点指標3】 授業の内容はよく分かりますか。	国語		()
		算数・数学		()
				()

【各学校が設定した指標】

質問項目	結果
	()

【結果分析】

--

1 学力向上検証改善サイクル

各学校の取組 例

8月②

- ・課題の克服に向けて、学校総体で取り組むこと、個人で取り組むことを決め、実践する。

熊本県学力・学習状況調査（R7. 12 実施）



⑧ Do
9～1月 「児童生徒が学びの主体となる学習活動の設定とその内容の充実」や「児童生徒が『分かった』と実感できる授業の充実」、「教員が学びの主体となる校内研修等の充実」等に取り組みましょう。

⑦ Plan
8～9月 9月以降に学校総体で取り組むことを確認しましょう。
☐ 「熊本の学び」プロジェクト校、道徳教育研究推進校等、公開授業や研究発表会への参加の計画
☐ 県提供の資料（「全国学力・学習状況調査の結果分析資料」「くまナビ評価問題」等）の活用を計画 等

⑥ Action
8月 課題の克服に向けて、県提供の資料等を活用して、学校総体や個人で取り組むことを決めましょう。

【学校総体で取り組むこと ※いつ・何を・どのように】

【個人で取り組むこと ※いつ・何を・どのように】

2 課題の改善に向けた県教育委員会の取組

1 「誰一人取り残さない学びの保障」

- 全国学力・学習状況調査後の結果及び分析資料の提供
- 県学力・学習状況調査の実施及び児童生徒への個人票と課題に応じたデジタル教材の提供 等

2 「教員一人一人の『児童生徒を学びの主体』とする授業力の向上」

- 「熊本の学び」及び「新たな学び」プロジェクト校による実践的研究
- 「熊本の学び」わくわくサークル(オンライン研修)の実施
- 資料の提供(校内研修で活用できる資料、くまナビ評価問題、家庭学習に関する取組事例)
- 教育事務所による学校支援訪問(スクールアシスト)、学力向上アドバイザーの派遣
- 教育センターによるスクールサポート 等

3 教員が学びの主体となる研修等の充実

- 「熊本の学び」プロジェクト校による授業研究会の実施
- 探究型管理職マネジメント研修の実施
- 創造 熊本の教育チャレンジゼミ 等

2 課題の改善に向けた県教育委員会の取組

「熊本の学び」プロジェクト校の取組 上天草市立登立小学校

教員が学びの主体となる授業研究会〔ワールドカフェ方式〕



参観した授業ごとに編成されたグループで意見交流したあと、参加者は、他のグループへ自由に移動。情報収集を行い、最後は、元のグループで再度意見交流。

R 6, 7 年度 9 地域 1 3 校を指定

管内	学校名
宇城	宇土市立宇土東小学校
玉名	荒尾市立荒尾第一小学校
菊池	菊池市立菊池南中学校
阿蘇	南阿蘇村立南阿蘇中学校
上益城	甲佐町立甲佐中学校
八代	氷川町立竜北中学校
芦北	芦北町立田浦中学校 芦北町立田浦小学校
球磨	人吉市立第二中学校 人吉市立人吉西小学校 人吉市立西瀬小学校 人吉市立中原小学校
天草	上天草市立登立小学校

2 課題の改善に向けた県教育委員会の取組

「熊本の学び」わくわくサークル

2	8月21日 (木)	① 10:00~11:30	「デジタル教科書の活用の 推進について(仮)」 講師 札幌国際大学 岩崎 有朋 教授		参集と オンラインの ハイブリット
		② 13:00~14:00	国語	外国語活動・外国語	
		③ 14:10~15:10	算数・数学	道徳	
		④ 15:20~16:20	理科	英語	
	※午後は、スーパーティーチャー等の実践に学びます。				
3	9月30日(火)16:05~16:45		国語	技術	オンライン
	10月 2日(木)16:05~16:45		算数・数学	社会	オンライン
	10月 3日(金)16:05~16:45		理科	英語	オンライン
	※全学調実施教科は、調査問題や結果を活用します。				
4	2月24日(火)16:05~16:45		社会	音楽	オンライン
	2月26日(木)16:05~16:45		算数・数学	道徳	オンライン
	2月27日(金)16:05~16:45		理科	英語	オンライン
	※自身のこれまでの授業実践等を紹介し合い、今後の授業改善の参考とします。				

1日で、
約400人
が参加

○昨年度の参加者の声



実践のヒントを得られたり、相談できる関係づくりにつながっていました。
小・中の系統性も学べたので、つながりを意識して、授業づくりをしたいです。

2 課題の改善に向けた県教育委員会の取組

校内研修で活用できる資料(県教育委員会HP参照)

研修の導入	テーマ	目安の時間	研修の概要
授業での課題から	児童生徒が学ぶ楽しさを実感する授業づくり	30分	児童生徒が学ぶ楽しさを実感する授業づくりに向けた、教師のコーディネート等について考える。
	児童生徒が課題解決に向けて、自ら取り組む問いや学習課題の工夫について	30分	児童生徒が課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができた実感できるような問いや学習課題の工夫を、自分の授業を基に考える。
	児童生徒が「わかった」「できた」を実感する授業づくり	30分	児童生徒が「わかった」「できた」を授業で実感するための手立てを、授業の場面（導入・展開、終末、次時以降）を通して考える。
	自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表する児童生徒の育成に向けて	30分	各学校の現状や実態に応じて3つの演習題から選択し、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表できる手立てや取組について考える。
学調の分析結果から	全国学力・学習状況調査問題や結果を活用した授業改善に向けて	35分	誤答の傾向から、児童生徒がどこでつまづいているかを確認し、学校や教科等での授業改善の取組について意見を交流し、自分が授業で取り組むことを考える。
児童生徒の意見から	児童生徒が主役となる授業を目指して	30～60分	児童生徒参加型の演習とし、児童生徒が主役となる授業について、教員と児童生徒が意見を交流して考える。

2 課題の改善に向けた県教育委員会の取組

くまナビ評価問題(県教育委員会HP参照)

令和6年度「くまナビ評価問題」小学校算数 第5学年	名前 ()
---------------------------	--------

1 だいちゃん、はるなさんは、陸上の動物について調べました。下の表は、キリン、ライオン、カンガルーが走った道のりと時間を表しています。

走った道のりと時間

	キリン	ライオン	カンガルー
道のり (m)	150	50	140
時間 (秒)	10	3	7



だいちゃん

キリンとライオンでは、どちらの方が速いかな？

道のりも時間もちがうから分かりにくいね。

道のりを同じにすると、どちらが速いか比べることができると思うよ。

ライオンは50m進むのに3秒かかるから、キリンと同じ150mを進む

には ㊦ 秒かかることが分かるね。

このことから、 ㊩ ので

㊥ の方が速く進むと分かるよ。



はるなさん

(1) ㊦ に当てはまる数を答えましょう。

㊦

2. 活用場面等(例)

例1【時間と道のりを基にした速さの意味を学ぶ際の教材として】

〈啓林館 第5学年2月頃 東京書籍 第5学年11月頃〉

⇒活用後について

定着が不十分な場合は、数直線図を活用し、時間と道のりの関係から、速さの意味理解を図りましょう。

例2【速さの表し方を確認する問題として】

〈啓林館 第5学年2月頃 東京書籍 第5学年11月頃〉

⇒活用後について

定着が不十分な場合は、時速、分速、秒速の意味を整理し、同じ時間(単位量あたりの大きさ)に揃える活動を設定しましょう。

3. 「単位量あたりの大きさ」の授業の充実に向けて

○問題文から、それぞれの関係を図に表し、図や式の意味を説明する活動を設定しましょう。

○一方を揃えてほかの量で比較する方法を用いることができるようにしましょう。
例 運動場1㎡あたりの児童の人数で混み具合を比較したり、1時間あたりに進む道のりで速さを比較したりする。

○一方を揃えてほかの量で比較するときには、その数量の意味を考えるようにしましょう。

例 速さを単位時間あたりに移動する距離として数値化した場合は、数値が大きい方が速い。一方、速さを一定の長さを移動するのにかかる時間として捉えて数値化した場合は、数値が小さい方が速い。



道のりが140mで時間が7秒のときに、速さを求める式が2つできました。それぞれ何を求める式ですか。

$140 \div 7$ は1秒間あたりに進む道のり、 $7 \div 140$ は1mあたりにかかる時間を求める式です。



2 課題の改善に向けた県教育委員会の取組

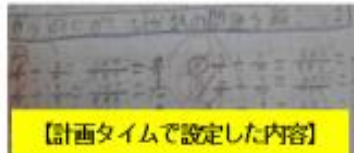
家庭学習に関する取組事例(県教育委員会HP参照)

参考指標2 【家で自分で計画を立てて勉強をしている】実践例

関連項目「熊本の学び推進プラン」第5章

学校と家庭をつなぎ、自ら計画を立てて勉強する取組
～ 南小国町立市原小学校～

- 学校で立てた計画を家庭で確認して取り組む「きよらっこノート」による自主的な学習
- 「きよらっこノート」(自主学習)の計画を立てる時間の設定



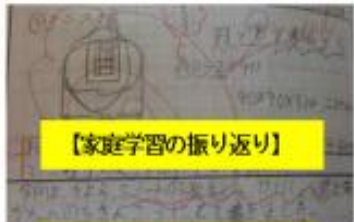
【計画タイムの様子】



家庭での「きよらっこノート」の自主的な取組のために、帰りの会の時間に「計画タイム」を設定し、家庭学習の内容を決めています。

帰宅すると児童は、この計画を確認して学習に取りかかります。内容は、各教科の基礎・基本的なものだけではなく、日記、継続した観察の記録等、自分の夢の実現につながる幅広い課題に取り組んでいます。

南小国町4校の小中学校では、毎月、優れた「きよらっこノート」の交流を行い、各学校で掲示することで、児童生徒の意欲が高まっています。



【「きよらっこノート」による学習】

【現在】

○左のような各学校が作成した事例をホームページにて紹介中

【今後】

○各学校が工夫した取組を行っており、各学校ホームページ内の「家庭学習に関する取組のURL」を、県のホームページに掲載し、県内の各学校と共有したいと考えています。
○御協力いただける学校を後日募集します。

2 課題の改善に向けた県教育委員会の取組

R7学力向上推進本部 委員の皆様の御意見より

- 授業参観や新井紀子先生の著書などを通して、教科書を使いこなして、基礎・基本が確実に定着するように積み重ねていくことが大切ではないか。
- 学習用語をきちんと確認して授業を進めないと、児童生徒は先生が使う学習用語が理解できず、授業を十分に理解できない要因になっているのではないか。
- 学習用語、主語、述語、指示語、接続語、グラフの読み方、図と文章の関係など、1年生から発達段階を踏まえて指導していく必要があるのではないか。
- 問題文が読めていない、どこに書いてあるのか分からないなど、問題文を読む段階で、あきらめている児童生徒がいるのではないか。
- 教科書の使い方や教材研究の仕方を教師自身が学ぶ機会がないのではないか。
- ベテランの先生は、音読、読む、書くなどの各時間を確実に確保しているようだ。

⇒学校の教材研究の仕方や、教科書の使い方、読解力向上の取組を収集してはどうか

3 課題の改善に向けた各学校の取組

学力向上について(課題の改善に向けた取組)

学びの主体性を高めるために

- 全国及び県学力・学習状況調査の結果資料の提供
- 「熊本の学び」プロジェクト校の公開授業及び授業研究会
- 道徳教育推進校の公開授業及び授業研究会
- 県教育委員会作成資料の活用(校内研修で活用できる資料、くまナビ評価問題、家庭学習に関する取組事例等)

等

読み取る力(読解力)を高めるために

- 読解力向上に関する研修の実施(わくわくサークル等のオンライン研修等)
- 各学校や先生方が取り組まれている教材研究の仕方、教科書の使い方、読解力向上の取組例の収集等
- 読解力の実態を把握するための調査を検討中

等

令和7年度「熊本の学び」プロジェクト校 公開授業 予定日	
プロジェクト校(地域)	公開授業等
宇土市立宇土東小学校	令和8年1月23日(金)
荒尾市立荒尾第一小学校	令和8年1月30日(金)
菊池市立菊池南中学校	令和8年1月14日(水)
南阿蘇村立南阿蘇中学校	令和7年12月19日(金)
甲佐町立甲佐中学校	令和7年10月24日(金)
氷川町立竜北中学校	令和8年1月20日(火)
芦北町立田浦中学校 芦北町立田浦小学校	令和7年11月28日(金)
人吉市立第二中学校 人吉市立人吉西小学校 人吉市立西瀬小学校 人吉市立中原小学校	令和7年10月16日(木)
上天草市立登立小学校	令和7年12月12日(金)

令和7年度道徳教育推進校 公開授業 予定日		
学校名	研究主題	公開授業 予定日
宇城市立 松橋小学校	ウェルビーイングを目指してよりよく生きようとするゆりのきっ子の育成 ～自他の考えのよさに気付く道徳科の授業づくりを通して～	令和7年 11月14日 (金)
八代市立 第二中学校	よりよい学校生活、集団づくりのための道徳教育の推進 ～豊かな体験活動を基盤にした道徳教育の充実を通して～	令和8年 1月30日 (金)

3 課題の改善に向けた各学校の取組

学力向上について（課題の改善に向けて大切にしたいこと）

学力向上推進本部の協議から

○教科書を使いこなす

- ・児童生徒が教科書を使って自分で学べるよう、教科書の構成と使い方を理解させる。
- ・教科書等の本文、グラフや図など、各教科における読み方を身に付けさせる。

○学習用語を理解する

- ・学習用語は、個人思考、対話、発表、まとめ、振り返り等で、繰り返し使わせる。

○読み取る力を高める

- ・学力調査などの結果や授業の見取りから、児童生徒の読み取る力の実態を把握する。
- ・読み取ったことを、教科書等に線を引いたり、それを使ってノートに書いたり伝えたりする場面を設定する。

重点指標に関する質問項目

【重点指標1】

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

【重点指標2】

自分の考えを発表する機会、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

【重点指標3】

授業の内容はよく分かりますか。（各教科において）



肯定的な回答の
向上を目指す